

論文番号 213

担 当

滋賀医科大学 福祉保健医学講座

題 名 (原題/訳)

Tobacco and alcohol use in G-rated children's animated films.

子供向けのアニメ映画における喫煙と飲酒の使用機会

執筆者

Goldstein AO, Sobel RA, Newman GR.

掲載誌 (番号又は発行年月日)

The Journal of the American Medical Association 1999 ;281(12):1131-6

キーワード

喫煙、飲酒、子供、アニメ、映画

要 旨

背 景

若者の間での喫煙と飲酒は公衆衛生における主要な問題となっている。しかし、子供向けの映画の中で子供たちがどの程度日常的に喫煙と飲酒の場面に曝されているかに関しては知られていない。

対象と方法

対象は1937年から1997年までの間に上映された、5大映画会社(ウォルトディズニー社、MGM/United artist社、ワーナーブラザーズ社、ユニバーサルスタジオ社、20世紀フォックス社)の子供向けアニメ映画で、ビデオテープを入手できるものすべてについて、喫煙と飲酒の使用機会について調査した。それぞれの映画について、喫煙と飲酒の使用機会の存在、使用された喫煙もしくは飲酒の種類、総合使用時間、登場人物別(悪役、中立、良役)の使用機会や暗示もしくは明白な健康への言及の有無を2名で調査し、分析した。

結 果

アニメ映画50作品中、喫煙もしくは飲酒の使用機会が少なくとも1場面あったのが34作品(68%)、喫煙に関しては28作品(56%)でそのうち'96年、'97年だけで7作品あり、他の映画会社では17作品中11作品あったが、ディズニー社では33作品中17作品だった。飲酒に関しては25作品(50%)であった。喫煙に関しては登場人物76人で45分以上、飲酒は登場人物63人が27分以上。良役では悪役と頻度は同じであった。また、葉巻とワインの使用頻度が高かった。

結 論

子供のアニメ映画では3分の2以上で、喫煙と飲酒が長期的に健康へ悪影響を及ぼすことへ明確に言及せず、物語の筋の上で喫煙と飲酒が使用されている。